

ひろば 大代

NO. 202

大代公民館

「ピカピカの一年生」

上市 木村悦子



いる様子を探してか、「今日は宿題が出たんだよ。早くしないと、けいちゃんが遊びにくるから……。」と言つて、初めての宿題（らしきもの？）をしていました。その姿を見て、

「大丈夫じゃない、やれば出来るじゃないの」

と、うれしくなる親バカな私。まだまだ幼いけれど、少しずつ小学生としての自覚をもつて頑張れるよう、陰に日向に応援しながら見守つてやりたいと思ひます。

「入学を迎えて」

平 稲田典子



せんでしたが、地域の皆様の温かい心づかいで小学校へも馴染み、友達も出来、近所のお兄さんお姉さんと毎日楽しく通っています。

まだ新しい制服やランドセルの方が身体よりも大きくてふつり合いな姿が

とても初々しく、うれしく感じられます。朝夕と子供の学校へ行く姿、帰る姿を見ることはできませんが我が家に

帰ると元気な声で、「おかえりなさい。お母さん今日ね、

○○したよ。」

と楽しそうに話してくれて、親の私の方がなんだか子供に支えられているみたいですね。

これから、新しい世界でいろんな事があると思いますが頑張つて楽しい学校生活を送つて欲しいと思います。

「故郷大代」

八反田 中垣昌人

青空の下、桜の華がちらほら。入学式にふさわしい四月九日、娘が大代小学校へ入学しました。

当日までは真新しい制服、ランドセル、机、靴など一日に何度も開け閉め

仕方ない様子でした。私の仕事の関係で、保育園は大田の方へ通っていたので地元の人となかなか馴染みがあります。でも先日、学校から帰ると、着替えをすませ、初めて机に向かい字を書いているのを見てびっくり。私の驚いて

「かえりました。」私は十八年振りにやつと大代に帰つて来る事が出来た喜びを今、心の底からかみしめていま

引っ越しの荷も解けぬままに農繁期を迎える時にふと見上げると、そこには私の子供の頃と変わらぬ青い空と緑の大江高山が目に飛び込んで来ます。

「ああ、私はここで生まれ育まれ、そして又故郷の懷に抱かれているんだ。これが私の一番自然な姿で、私の望んでいた生き方なんだ。」とつくづく思うのです。

都会生活、大企業社会、核家族、団地住まい。大代では経験できない様々な事柄も勉強出来、多くの人達との出会いや別れ、そして世代交替の悲しみを味わいながら、どうやらこのつまらない男も本当の意味での「大人」に一步步近づいて来た様な気がします。故郷大代でのこれから的生活が私のそして私達家族六人の人間としての真価が問われるものと考え、精一杯、一生懸命に仲良く生きて行きたいと思つております。何分にも未熟者ばかりですので、大代の皆様の大いなる叱咤と暖かい励ましを頂きながら、一日でも早く真の大代人になる事を切に祈念してこの取り止めの無い文章を終わりたい

と思います。どうかよろしくお願ひ致します。

若者に対する期待と希望

関西高山会事務局長 中本 弘

められる時、評論家立花隆氏の記述は若者だけでなく私も力づけられる。

人事・役員交替 (敬称略)

◎大代体育協会

会長 大場清志

副会長 笠井節夫・竹島 修

◎転出 大代駐在所から

塩満 彰 隅岐へ

◎転入 大代駐在所へ

岡田昭夫 波根駐在所から

五月の行事予定

◆8日(水)編集委員会
◆15日(水)J.A.地区総代会
◆19日(日)福祉弁当

◆22日(水)連合自治会 七時~

◆社協大代支部より
右原 山口好夫様
柿田 谷口喜義様

山田 向井 清様

乱読の私には読書が巨大な潜在力を有する無意識層に刻印され、必要な際忽然とよみがえる。

今、時代は地球的規模で変化が激しい。その中で何が眞実であるかそれを求めどう対応すればよいか、知恵が求

それぞれ金一封の御厚志を頂き有難うございました。厚く御礼申し上げます。

◎関西高山会総会出席者募集

六月九日(日)昨年と同「新北京」
申し込みは公民館までお早めに